

動画コンテンツを活用した 対面授業への取り組み

～ 運営上の問題を克服し、
各クラスの授業内容を充実させる～

「愛媛学」における 動画コンテンツの活用

eラーニングを活用したきっかけ

「愛媛学」は、対面授業の形式で行っており、多くのゲストスピーカーから全国的に適用できる地域課題解決の事例を学べる点に特長があります。この授業は、全9クラスで開講している大規模な授業のため、急な事情による休講などのマネジメントやコスト面での対応等、今後のことを考慮して、授業にeラーニングを導入することに踏み切りました。

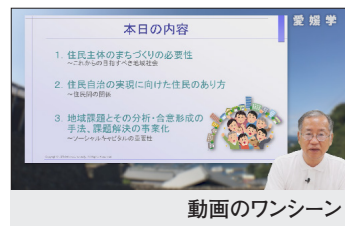
教材の内容

平成28年度に前田教授による講義の動画、平成29年度にゲストスピーカーが自身の活動について語る動画をそれぞれ4つ制作しました。「愛媛学」は地域の課題を把握、分析、解決するための方策を学ぶことを目的としています。そこで、学生が地域の課題に気付く力、見つける力を養い、多くの事例から学べる力を身につける内容に組み立てました。

事例を伝える動画には、2人のゲストスピーカーに出演していただきました。お一人は、愛媛にある地域資源を活用したビジネスを展開されている方で、もうお一人は、これからの暮らし方、働き方、愛媛県の課題とそれを克服するための活動など、ワーク・ライブ・バランスについて取り組まれ

ている方です。お話には事業だけでなく、自身の生き方や思い、学生への問題提起などを含めていただき、学生に自分の問題として考えてもらえる内容に仕上げています。

これら制作した動画の形式は、いずれもPowerPoint連動タイプで、1つの視聴時間が10～20分程度になるようにまとめました。今後は、事例を紹介する動画コンテンツをより充実させながら、各クラスで活用していきたいと考えています。



学生への効果

授業の中で、動画に集中している傾向が見られました。動画中のPowerPointは教育デザイン室のブラッシュアップのおかげで、学生にとって視覚的にも理解しやすいものになったと思います。

さらに、授業では学生の授業に対する参加度、学んだことに対する達成度を上げるために、動画コンテンツの視聴と個人ワーク、グループワークを組み合わせました。1つの動画を視聴した後に、教員が学生に問題を提示します。学生は考えをまとめ、その考えを



発表し、クラス全体で意見を共有します。この流れを、1回の授業内に2度行います。このような活用方法は、学生の授業への参加度を高めた一因になったと思います。

eラーニングでやってみたいこと

「愛媛学」では、現場での実践や体感が非常に大切です。そこで、現場を取材し、動画で放映するなどの可能な限り体感に近い感覚を得られる仕掛けがあると、より授業内容が充実すると思います。実現には、コスト面などの問題もありますが、現場で得られる実感を伝えることが大切だと考えています。

今後、取り入れたいこと

Moodle等を使いながら、学生がその場で考えたことを全員で

共有できる仕掛けや「地域でボランティアをしたい」などの声を拾って、次の活動に繋げる仕組みができると、より学生のモチベーションも高まると思います。

「愛媛学」は1回生の時に必修科目として履修し、授業では講義とワークを交互に行うことで、学生の理解を深めています。このような方法で、2回生、3回生になった時にも授業内容を振り返ったり、やる気のある学生が継続的に学び続けたりすることができればよいと考えています。

原稿 アップ前の

- 自由発議にアイデアや意見を出し合う
- 他人の発言に対して批判・否定しない
- 意見、アイデアは賛より量を求める
- 出てきた意見やアイデアから、さらに自分の意見を思いつき、統合してより良いものになる

アップ後

ブレインストーミングのルール

- 自由発議にアイデアや意見を出し合う
- 他人の発言に対して批判・否定しない
- 意見、アイデアは賛より量を求める
- 出てきた意見やアイデアからさらに自分の意見を思いつき、統合してより良いものになる

eラーニングコンテンツの活用方法例

「愛媛学」では、動画コンテンツの視聴と個人ワーク、グループワークを組み合わせた学習の流れをつくり、学生の授業に対する参加度、学びの達成度を上げる工夫をしました。

1. 動画を視聴する

【動画の特徴】

- 撮影した講義とPowerPointの講義資料を連動させた形式
- 学習内容を視覚的に捉える工夫

ポイント1

イラストや写真

ポイント2

図式化

イメージを掴みやすくするために、イラストや写真を利用しています。 過程や手順を簡潔に表すために図式化を利用しています。

